

令和 6 年度事業報告

事業年度 令和 6 年 1 月 1 日から令和 6 年 12 月 31 日

令和 7 年 3 月 12 日

NPO 法人小児がん・まごころ機構(MOCC)

1 事業実施の方針

かねてより事業実施の方針として堅持してきた以下の 3 つの方針を令和 6 年度も継続する。

- I. NPO 設立当初より継続してきた ICT を活用した日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業を推進する。
- II. アジア小児血液・がん治療研究グループ（通称：APHOG）の活動及び事務局機能の担務。また、1. の活動により得た知見をアジアにおける小児がん長期フォローアップに生かし、それを支援する活動も含める。
- III. WHO(世界保健機関)及び SIOP/SIOP-Asia と緊密に連携し、「WHO Global Initiative for Childhood Cancer（通称：GICC）」(2030 年までに世界の小児がんの治癒率を 60%以上に上げる。2018 年発表)を推進するため、国内外における啓発・広報活動を行う。

2 具体的実施事業

(日本国内事業)

【2024 年 2 月 4 日(日)】

「国際小児がんデー 2024 in 佐賀」 (資料 1-(1)参照)

主催:MOCC, APHOG

共催:SIOP/SIOP Asia, Amazon Japan GK

会場：ホテルニューオータニ佐賀

◎会場参加は第 3 回目の一昨年から開始したが、4 回目の今回は、ほぼ満員の 150 名を越す皆様にご参加いただき、大変盛会のうちに終えることができた。

本イベントの動画は YouTube で閲覧可。

動画：「国際小児がんデー 2024 in 佐賀」

YouTube： <https://youtu.be/t8qDKLFxJKE>

【2024 年 6 月 24 日(月)】

“APHOG Annual Meeting 2024” during SIOP Asia 2024 (16th Congress of Asia continental branch of International Society of Paediatric Oncology) (資料 1－(2)参照)

◎NPO 法人小児がん・まごころ機構が正式に事務局を務める、アジア小児血液・がん治療研究グループ (通称：APHOG) が、2024 年 6 月 22～25 日にパシフィコ横浜で開催される第 16 回国際小児がん学会アジア大会 (SIOP Asia 2024) の 2 日目に、ランチョンセミナーと共に “APHOG Annual Meeting 2024” を、SIOP Asia 及び St. Jude Global と共催で終日行った。

APHOG と MOCC の活動を内外共に拡くアピールでき、その知名度アップにも貢献した。

【2024 年 9 月 8 日(日)】

“ WHO Global Initiative for Childhood Cancer (WHO GICC) in Tokyo 2024” (資料 1－(3)参照)

主催: APHOG, SIOP Asia, MOCC

共催：Purple Songs Can Fly Japan

後援：厚生労働省、国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、他

会場：国立がん研究センター

同時通訳: 日・英

◎9 月の小児がん啓蒙月間に伴い、Global Gold September Campaign 「世界小児がん啓発キャンペーン」の一環として、2021 年から毎年開催している、“WHO Global Initiative for Childhood Cancer (WHO GICC) in Tokyo 2024”世界のすべてののがんの子供を救おう～2030 年までに、小児がんの治癒率を 60%以上に～国際シンポジウムを開催した。

今年で 4 回目の開催となるこの WHOGICC には、医療関係者、患者家族、学生など 160 名以上の参加があった。アジアの小児がんの現状レポートや基調報告などもあり、大変充実したイベントであった。

(海外事業)

【2024 年 11 月 6 日(水)】

“4th APHOG & SIOP Asia Joint Scientific Symposium 2024” (virtual) オンライン開催

(資料 1－(4)参照)

◎NPO 法人小児がん・まごころ機構の全面的な支援により、本シンポジウムをオンラインで開催した。今回のテーマは “Retinoblastoma” (網膜芽腫)。4 名の国際的に著名な研究者の発表があり、大変レベルの高いシンポジウムであった。

【2024 年 12 月 11 日(水)】

“3rd APHOG Global Seminar 2024” (virtual) オンライン開催 (資料 1－(5)参照)

◎今回のテーマは“Soft Tissue Sarcoma: Asian Challenge”（軟部肉腫：アジアの挑戦）

3名の著名な研究者がオンラインで講演。300名以上の参加登録があった。

NPO法人小児がん・まごころ機構の全面的な支援で開催した。

【2024年1月～12月】

月例の APHOG Executive Council オンライン会議、及び APHOG Executive Council and Advisory Board Joint Meeting オンライン会議の支援を行った。

・3 その他の活動

<定期ミーティングの実施>

- ・各施策の進捗状況チェックと改善のため、報告と月2回の定期的なミーティングの実施

<広報活動>

- ・ホームページの更新

（広報、寄附金集めのプラットフォームとして、合目的的に改良）

- ・積極的なニュースリリースの実施

- ・各実施活動に対して、ニュースリリースを作成、SNS 活用

→SNS のマルチメディア化(インスタグラム,youtube 実施)。メールマガジンの定期発信を実施。

<認定 NPO 取得に向けた活動、会員制の実施検討>

- ・認定 NPO 取得に向けた活動 2023、2024 年度で検討。継続的に 2025 年度も進行（行政書士へ委託）

- ・毎月定額寄附をしてくれる方を対象とした会員制の創設を検討、準備。

→2025 年度から具体的に実施予定。

<寄附金集め>

- ・法人及び企業、個人からの寄附集め。

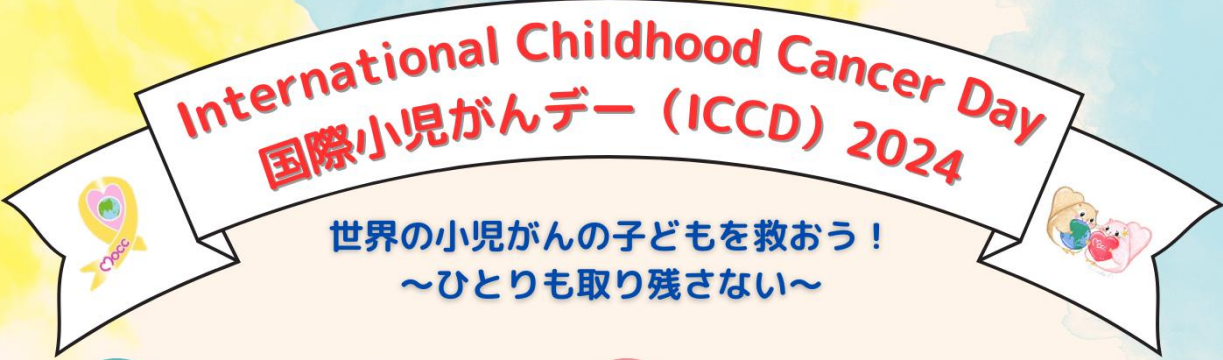
- ・ふるさと納税による寄附金集め。

・4 人事

- ・令和6年12月31日を以って早川泰雄氏が退任し、令和7年1月1日より、妙圓蘭学氏が新事務局長に就任。

- ・東京事務所において、令和6年4月1日より APHOG の事務支援業務担当として竹村貴美子氏、及び広報活動・クラウドファンディング支援業務担当として越山直紀氏に委託し両業務の強化を図る。

資料 1-(1)



International Childhood Cancer Day 国際小児がんデー (ICCD) 2024

世界の小児がんの子どもを救おう！
～ひとりも取り残さない～

日時
 令和6年 2月4日 (日)
 午後 2 時～ 4 時

場所
 ホテルニューオータニ佐賀

主催: NPO法人 小児がん・まごころ機構、ライオンズクラブ国際協会337-C地区

共催: 国際小児がん学会(SIOP)、アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)
NPO法人パープルソングスキャンフライジャパン

参加登録はこちらから↓ (2月3日12:00まで)

URL <https://bit.ly/iccd2024saga>



ハイブリッド開催 (現地参加もしくはオンライン参加)

ライオンズクラブ国際協会
337-C地区 (佐賀・長崎)

プログラム

総司会 中村百合子

開会の挨拶 (14:03～14:07)

ライオンズクラブ
国際協会337-C地区ガバナー 古賀 義行

活動報告 (14:07～14:20)

「アジアの小児がんの子どもを救い、ケアするために」
NPO法人小児がん・まごころ機構 中川原 章

新サポーター紹介 (14:20～14:40)

「小児がんの子どもたちの歌(仮題)」
NPO法人パープルソングスキャンフライジャパン
NPO法人理事長 古賀 俊光
米国・テキサス小児病院 アンタ・クルーズ

アジア小児がんレポート (14:40～15:00)

「小児がんの子どもたちに希望の灯を
～ベトナムでの活動を通して」
認定NPO法人 アジア・チャイルドケア・リーグ(ACCL)
代表 渡辺 和代

**アジア・グローバル対談：
「カンボジア-ベトナム-日本」 (15:00～15:15)**

嘉数 真理子 (国際NGOジャパンハート)
渡辺 和代 (認定NPO法人 ACCL代表)

歌って、踊って、応援ショータイム (15:15～15:55)

・ティーンズミュージカルSAGA
『いのちのお話ミュージカル』
・JOYFUL VOICES IN 九州
『子どもたちのゴスペル』

閉会の挨拶 (15:55～16:00)

三重大学医学部長・アジア小児がん学会
会長 堀 浩樹


 中川原理事長


 アンタさん


 渡辺さん


 嘉数さん

後援: 佐賀県、佐賀市、鳥栖市、(株)サガテレビ、(株)佐賀新聞社、ケア・サポーターズクラブ佐賀、(公財)佐賀県国際交流協会、(一財)量子医療推進機構、NPO法人 日本小児がん研究グループ(JCCG)、佐賀大学医学部小児科、(公財)がんの子どもを守る会、認定NPO法人 ハートリンクワーキングプロジェクト、NPO法人 アジア・チャイルドケア・リーグ(ACCL)、アマゾンジャパン合同会社、NPO法人 がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会、NPO法人 クレブスサポート、NPO法人 パルサポートキッズの会、認定NPO法人 キャンサーネットジャパン、認定NPO法人 ミルフィユ小児がんフロンティアーズ、NPO法人パープルソングスキャンフライジャパン、ティーンズミュージカルSAGA、NPO法人鳥栖子どもミュージカル

【問合せ先: 佐賀事務局】 TEL・FAX:0942-50-5542 イベント専用アドレス:iccd2024saga@mocc4u.org

資料 1－(2)



16th Congress of Asia continental branch of
International Society of Pediatric Oncology

APHOG

Annual Meeting 2024

[Date] **JUNE 24th (Mon)**

[Venue] **Yokohama Pacific, Japan**





PROGRAM Joint Symposium of "SIOP Asia 2024", "APHOG Annual Meeting 2024" and "St. Jude Global"
(The titles of presentations are simplified.)

Morning session (Room A)

8:00~10:00	Childhood and AYA Cancers Global Network Symposium-1 ~ Partnering for CureALL ~ Chairs: Guillermo Chantada & Kimikazu Matsumoto WHO ————— Andre Ilbawi SIOP ————— Guillermo Chantada SIOP/APHOG ————— Muhammed Saghir Khan St. Jude Global ————— Catherine Lam APHOG ————— Akira Nakagawara POEM ————— Gevorg Tamamyan
10:00~10:15	Coffee Break
10:15~11:55	Childhood and AYA Cancers Global Network Symposium-2 ~ Current Problems and Future Action in Asia ~ Chairs: Catherine Lam & Bharat Agarwal Epidemiology of Childhood Cancer in Asia ————— Kayo Nakata Childhood Cancer Predisposition in Asia ————— Catherine Lam Diagnosis and its problems in Asia ————— Godfrey Chan Radiotherapy in Asia ————— Hiroshi Fuji Clinical Studies of Pediatric Cancers in Asia ————— Chi-Kong Li

資料 1－(2)

PROGRAM	
Luncheon Seminar (Room A)	
12:00~13:00	Chair: Bharat Agarwal Advances in Immunotherapy of Pediatric Cancers — Alice L. Yu Sponsors / APHOG & MOCC
PROGRAM	
Afternoon Session (Room B)	
13:15~15:00	APHOG Session-1 Status reports on WHO-GICC in focus countries in Asia Chairs: Hiroki Hori & Muhammad Saghir Khan What is WHO GICC on-going? — Yuliya Lyamzina WHO GICC in Sri Lanka — Sanjeeva Gunasekera WHO GICC in Myanmar — Aye Aye Khaing WHO GICC in Philippines — Ana Patricia Alcasabas WHO GICC in Kyrgyzstan — Sultan Stambekov WHO GICC in Pakistan — Alia Ahmad Invited Comments / Catherine Lam, Elick Narayan
15:00~15:15	Coffee Break
15:15~17:00	APHOG Session-2 Challenges of Pediatric Cancer Clinical Trials in Asia Chairs: Rashmi Dalvi & Purna Kurkure SIOP Global Mapping Project in Asia — Maite Gorostegui Obanos Clinical Trials in Japan (JCCG) — Atsushi Manabe Clinical Trials in India (INPHOG) — Ramandeep Arora Clinical Trials in China (CCCCG) — Yongmin Tang Clinical Trials in Thailand (ThaiPOG) — Panya Seksarn Problems of Survivorship in Asia — Rashmi Dalvi Discussion
17:00~18:00	APHOG Annual General Meeting 2024
	APHOG (Asian Pediatric Hematology Oncology Group) is a network of medical professionals dedicated to improving pediatric cancer treatment across Asia. Collaborating with the International Society of Pediatric Oncology (SIOP) Asia branch, it functions as the action team of SIOP Asia, similar to the Chinese proverb "Two Wheels of a Cart." This partnership aims to enhance the standards of pediatric cancer treatment and patient survival rates, thereby elevating the quality of pediatric cancer care throughout Asia.
	The Magokoro Organization for Childhood Cancer (MOCC) is a non-profit organization that provides medical support, psychological care, and survivorship to pediatric cancer patients and their families across Asia, including Japan. Particularly, MOCC financially supports the activities of the Asian Pediatric Hematology Oncology Group (APHOG), aiming to improve the quality of pediatric cancer treatment throughout the region. This effort is dedicated to ensuring that children can lead better lives.



APHOG Annual Meeting 2024

Date : JUNE 24th (Mon) Venue : Yokohama Pacific, Japan





Global Gold September Campaign

WHO GICC in Tokyo 2024
小児がん グローバル イニシアティブ
貧富の差を乗り越えて
すべてのがんの子どもを救おう
～ 2030年までに、世界の小児がんの治癒率を60%以上に ～

日 時: 2024年 9 月 8 日 (日)
 午後 2 時～午後 5 時
 受付開始 午後 1 時 3 0 分

参加無料

会 場: 国立がん研究センター(東京都中央区築地)
研究所 1 階 大会議室

参加申込期間
7月30日～9月7日
 ※席に余裕がある場合は、当日参加も可能です。
 申込期間内・期間外に関わらず事前登録をお願いします。



申込みURL: <https://bit.ly/gicc2024tokyo>

定 員: 200名 (先着順)
形 式: 対面開催 (現地開催のみ)

主 催: アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG)
アジア小児がん学会 (SIOP Asia)
NPO法人小児がん・まごころ機構 (MOCC)





後 援: 厚生労働省 (他多数、依頼中)
問合せ先: 2024 WHO GICCシンポジウム事務局
(オスカー・ジャパン株式会社 国際事業部) e-mail: gicc@oscar-japan.com




資料 1-(3)



PROGRAM

＼ 14:00-15:10／

総合司会: 中村 百合子

- **挨拶・趣旨説明:** 中川原 章: NPO 法人 小児がん・まごころ機構 理事長
アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) 代表
- 小児がん治療支援チャリティーライブテーマソング
“My Hero 奇跡の唄” (阪本 龍一作曲・つくく作詞)
- **挨拶:** 自見 はなこ (内閣府特命担当大臣、参議院議員)
大坪 寛子 (厚生労働省 健康・生活衛生局長)
アンドレ・イルバウイ (WHO がん担当統括官)
ジレルモ・シャンタダ (国際小児がん学会 (SIOP) 会長)
- ことりゆき 「ピアノ弾き語り」
- **アニータ・クルーズ** 米国パープルソングスキャンフライ創設者 「小児がんの子ども唄」
- **アマゾンジャパンG.K.** 「Amazon Goes Gold 活動報告」
- 寄附贈呈式: アマゾンジャパンG.K.

＼ 15:10-15:25／ 休憩タイム

＼ 15:25-17:00／

- **基調報告** 堀 浩樹 アジア小児がん学会 (SIOP Asia) 会長
「WHO 小児がんグローバル イニシアティブの展開」
- **現地レポート:** WHO GICC in スリランカ サンジーバ・グナセケラ
WHO GICC in ミャンマー アイ・アイ・カイン
WHO GICC in フィリピン アナ・パトリシア・アルカサバス
WHO GICC in パキスタン アリア・アーマド
- **パネルディスカッション**
- 司会** 堀 浩樹 (アジア小児がん学会 会長)
渡辺 和代 (NPO アジア・チャイルドケア・リーグ代表)
- 討論者** 米田 光宏 (国立成育医療研究センター小児外科)
吉岡 孝子 (国立成育医療研究センター病理診断部)
加藤 美穂 (JCCG成育データセンター)
中田 佳世 (大阪国際がんセンターがん対策センター)
- **ゴスペルコンサート小児がん克服へのゴスペル: Wonderful Shalom!**
- **閉会の挨拶** 中釜 斉 国立がん研究センター理事長

※敬称略



4th APHOG & SIOP Asia Joint Scientific Symposium 2024

Title: “Retinoblastoma”

Date: November 6th WED, 2024

Time: Nov. 6th 06:00-08:00 (EST, USA), Nov. 6th 16:30-18:30 (IST, India),
Nov. 6th 20:00-22:00 (JST, Japan)

Opening Remarks: Akira Nakagawara, Chairman, Executive Council, APHOG
Gevorg Tamamyan, President, SIOP-Asia, APHOG

Moderators: Godfrey Chan (Hong Kong University, HK, China; SIOP & APHOG)
Muhammad Saghir Khan (Pakistan; SIOP & APHOG)
Rashmi Dalvi (Mumbai, India; SIOP & APHOG)

Speakers (30 mins each)

Speaker 1: **Guillermo L Chantada** (Hospital Sant Joan de Déu, Barcelona, Spain)

Title: “Challenges for the global cure of retinoblastoma”

Speaker 2: **Yaqoub Yousef** (Department of Surgery, King Hussein Cancer Center, Amman, Jordan)

Title: “General Rules and Guidelines for the Management of Retinoblastoma”

Speaker 3: **Swathi Kaliki** (The Operation Eyesight Universal Institute for Eye Cancer, LV Prasad Eye Cancer, India)

Title: “Retinoblastoma in Asia”

Speaker 4: **Jesse L Berry** (Children’s Hospital Los Angeles and the University of Southern California Roski Eye Institute, USA)

Title: “Aqueous Humor Liquid Biopsy for Retinoblastoma “

Closing Remark: Purna Kurkure, Executive Council, APHOG

Link to register: hbit.ly/4dJNVaZ



資料 1 – (5)



3rd APHOG Global Seminar 2024

Asian Pediatric Hematology and Oncology Group ~Since 2021~

Theme: “Soft Tissue Sarcoma: Asian Challenge”

Date: December 11th WED, 2024

Time: Dec. 11th 06:00-08:00 (EST, USA), Dec. 11th 16:30-18:30 (IST, India),
Dec. 11th 20:00-22:00 (JST, Japan)

Moderators: Godfrey Chan (Hong Kong, China), Alice Yu (Taiwan)
Rashmi Dalvi (India)

Keynote Lectures (30 min for each plus discussion):

1. **Huanmin Wang, MD** (Chairman, Chinese Children's Cancer Group: CCCG & Beijing Children's Hospital, China)
“Challenge of Diagnosis and Treatment of Soft Tissue Sarcoma in Asia in the Era of Precision Medicine”
2. **Kenneth Tou En Chang, MBChB, FRCPath** (KK Women's and Children's Hospital & Duke-NUS Medical School, Singapore)
“Pathology of Soft Tissue Sarcoma in Children: The Asian Challenge”
3. **Charles Keller, MD** (Children's Cancer Therapy Development Institute, USA)
“Entinostat as a Combinatorial Therapeutic for Rhabdomyosarcoma”

Closing summary: Muhammad Saghir Khan (Saudi Arabia)
Hiroki Hori (Japan)

Free Registration (Automatic reply)

URL:

https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZYudO-orzMqE9KEJ7Ak_1jbW1cNAWbbqOKI

Organizer: Asian Pediatric Hematology and Oncology Group (APHOG)
Co-organizers: The Asian Continental Branch of SIOP (SIOP Asia)
NGO Magokoro Organization for Childhood Cancer (MOCC)

